

新得町・日本最古の 旧狩勝線フットパス



小川 浩一郎 (おがわ こういちろう)
株ジオ (THE-O) 代表取締役

1980年札幌市生まれ。2001年エコ・ネットワーク代表代行、13年北海道科学大学客員准教授。札幌市南区常盤で育つ。『フットパス』をキーワードに市内、道内、国内で普及活動、ウォークイベントを実施し、ワールドウォーカーとして世界の「フットパス」を歩いている。「歩く」ことを通じて自然あふれる都市・札幌を観光客へ伝えるべく奮闘中。著書に「北海道フットパスガイド①」「北海道フットパスガイド②」。

札幌や新千歳空港から十勝方面に向かい、日高山脈を越えると道央からの十勝の玄関口・新得町です。酪農や農業が盛んで、新得産のそばを都市部のそば屋で見かける機会も増えました。他にも有名な史跡がこの町にはあるのを知っていましたか？・・・旧狩勝線跡です。南富良野町の落合から新得まで北海道の東西を支える鉄道として明治時代に苦勞の末に完成し、新得町の発展のみならず北海道開拓を支えてきた路線です。惜しまれながらも1966年に新線に切り替わってしまいましたが、現在も尚、当時の雰囲気や景色が残っていて、全国から鉄道ファンが訪れているといえます。そしてフットパスの歴史にも大きな役割を果たしているのは前回も触れたとおりです。

鉄道ファンにも喜ばれるフットパス

新得町には4本のフットパスが整備されていますが、初期は旧狩勝線を通る1本のフットパスから始まりました。旧新内駅からスタートし、町市街地付近のSL広場までです。本場英国でも特に北部やスコットランドでは廃線を利用したフットパスがありますが、アップダウンが少ないので気軽に歩けるのです。しかし旧狩勝線を歩くフットパスは、廃線跡としては珍しく標高差や大きなカーブのある路線です。当時の列車が苦勞したのが歩いていてもうかがい知ることができません。そしてなんとといっても廃線跡上のそこかしこに、当時の史跡が残されている点です。煉瓦づくりの見事なアーチ橋や^がいしが残る電柱、そして新内と狩勝のトンネルもそのままの姿で残っています。これはフットパス愛好家だけでなく、鉄道ファンにも喜ばれる理由のひとつでしょう。



道幅の広い旧狩勝線のフットパス



日本でも屈指の好景観

現在は狩勝峠側の旧狩勝線を歩ける「狩勝峠フットパス」と「サホロ湖フットパス」、チーズがとても有名な共働学舎や駅を起終点にした市街地付近の「新得山フットパス」「牛乳山フットパス」の4つのコースになっています。

この中でもサホロ湖フットパスは旧狩勝線の他、佐幌ダム周辺の自然、羊牧場などの田園風景、そしてベアマウンテンやヨークシャーファームなどを通れるバラエティに富んだフットパスになっています。ヨークシャーファーム付近では、本場英国で利用されている土地同士の間設置されたキッキングゲートやスタイルもあり、景観も放牧地はもちろんその遠景で日高山脈が横たわっている日本でも屈指の好景観の中を歩けます。何より国道38号周辺にはヨークシャーファームのほかラーメンやそばなどのお店もあり、歩きながら地域の食に触れられるまさしく日本のフットパススタイルも抽象されていて、本場英国と日本の北海道のいいところが凝縮されているといっても過言ではないでしょう。全長約16kmで1日かけて歩いてもいいですし、半分ずつ2日かけて歩くのもいいでしょう。

2つのルートのいいとこどり！

市街地側の方とはいうとスキー場にもなっている新得山とそのお隣の牛乳山に各々ルートがあります。市街地側といっても実は標高差が多い方で200m以上あり、運動としても楽しめるコースになっています。

新得駅を起終点とした新得山フットパスでは、新得町内はもちろん神社など地域にも触れられます。お地蔵さんが並ぶ山道を通り、ゲレンデを横切ると素晴ら

しい景色が堪能できます。ここから山頂まできついであればゲレンデを下り、SL広場を通り、駅に戻ることでもあります。新得山頂上まで進めばもちろん後は下りです。途中共働学舎があるのでチーズなどの乳製品や、それによく合うパンなどでおなかを満たすのもいいでしょう。

牛乳山フットパスはこの共働学舎が起終点です。ルート最初は共働学舎の敷地内を歩くことになるので本当に通っていいの不安になりますが、1本道をそのまま進みます。砂利道が終わると急に開けた牧草地に出てきます。いったいどこを歩いていいのかわからないかもしれませんが、矢印の方向に進めばパンケシントク川に行き当たりますので、道なりに進みましょう。架かっている橋が傾いていますので、気を付けて渡ってください。

この2つのルートは隣接しているのでつなげて歩くのもいいでしょう。マップを見ていいとこどりで歩いて、共働学舎も堪能するという手もあります。マップは新得町観光協会（TEL：0156-64-0522）まで。200円で販売されています。

以前はよく歩きに行っていたので、久しぶりに行ってみたいになりました。写真でも使っているとおり、新得フットパスは仕事でも家族とのプライベートでもフットパス歩きを楽しんだ町です。日本最古のフットパスは石橋のアーチ橋のある廃線や、チーズに羊といった英国流と日本の植生にそばなど、日本流が見事に融合した素晴らしいフットパスなのです。



旧狩勝線のトンネルを通るコース



新得山のゲレンデ